

様式

令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和6年3月15日

団体所在地 福山市郷分町1434番地
団体の名称 福山市立郷分幼稚園
職・氏名 園長 石丸 哲也

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・春の野原探検
- ・春野菜の収穫
- ・園内畑のいちご狩り
- ・夏野菜の種まき, 苗植え
- ・「ちゃぷちやぷランド」(芦田川河川敷)で春の草花の探索
- ・田植え

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・草花の色水作り
- ・和紙染うちわづくり
- ・夏野菜の収穫
- ・園内雑草広場でバッタ捕り

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・秋の虫探し
- ・栗拾い
- ・稲刈り
- ・芋掘り・焼き芋パーティー
- ・秋の野原探検(落ち葉拾い, どんぐり拾い)
- ・新米パーティー(炊飯・おむすびづくり)
- ・芦田川河川敷での土手すべり

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列

- ・森遊び
- ・つくし採り

【4月～6月】

(写真)



田植え体験（エピソード記述）

- ・昨年度経験のある年長児は、4月の春の野原探検の時から、田の様子の変化に気付き、田植えや稲刈りのことを思い出し話題にしていた。
- ・幼稚園の周りの田に田植えの準備が始まると、田植えをする場所を確かめたいと声上がり探検に出かけた。梅雨時の自然の様子やカエルなどの生き物にも関心が広がり、田植えへの期待が高まった。
- ・保護者にも協力をいただき、親子で田植え体験を行った。
- ・体験後は、自分の植えた場所に印をつけておきたいと、植えた稲への愛着や、順調に稲が育つことを期待する声が多く聞かれた。秋の稲刈り、新米の炊飯体験へと子どもたちの気持ちは、向かっていった。

【7月～9月】

(写真)



和紙の草木染め（エピソード記述）

- ・園児たちは、春から、園庭の雑草広場や花壇にある草花を使った色水遊びを楽しんでいた。
- ・できた色水で絵を描いたり、紙に染めたりして遊んでいたことから、PTA協力のお楽しみ会で、和紙を使ったうちわ作りをすることになった。
- ・色が和紙に定着するための薬品の準備等を保護者にしていただき、当日は、子どもたちが草花を集め、それぞれ色水を作ったもので、うちわ型の和紙を染めていった。
- ・乾燥させた後、うちわの骨組みに貼り合わせ、うちわを完成させた。
- ・仕上がったうちわは、地域の夏祭りで踊る時に手に持って踊ることにした。

【10月～12月】

(写真)



稲刈り体験 (エピソード記述)

- ・幼稚園の周りの秋見つけから、稲の様子にも気付き、年長児は、昨年度の稲刈りをしたことを思い出した。
- ・地域の農家の方に教えていただきながら、保護者と一緒に稲刈りを行った。
- ・刈り取った稲は、幼稚園に持ち帰り、自分たちの手で、脱穀、粃摺り等を行い、新米パーティー（炊飯体験）への期待が膨らんでいった。
- ・稲刈り体験をしたことで、秋の実りに関心が向き、栗拾いや芋掘り、落ち葉拾いやどんぐり拾いへと興味が広がっていった。さらには、野原へ出かけることで秋の虫探しにもつながっていった。
- ・五感を使って秋の季節を感じ取り、友だち同士で伝え合い、絵画などの表現活動へもつながった。

【1月～3月】



冬の森遊び (エピソード記述)

- ・事前に、幼稚園の周りの山の様子から気付いたことをもとに、森遊びでしたい遊びを話し合った。
- ・「木でテントを作りたい」等の声をもとに、子どもたちが遊びの準備をした。
- ・森に着くと、すぐに斜面の落ち葉の上をすべり台にして滑ったり、枯れ木で組んだテントに布をかけたりしながら、思い思いに遊んだ。
- ・登りやすそうな木を見つけての木登りや、地面に穴を見つけて穴の中の動物探し、落ち葉で動物の形を作ったり、木の中に張ったロープで綱渡りをしたりと、回を重ねるごとに遊びが広がっていった。
- ・木の強さや、足場の安定など安全を確かめながら遊んでいる姿があった。森の中では、五感をフルに働かせて遊んでいる様子が見られた。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）

- ・ 職員の資質向上について

園内職員研修（11月）

内容：森遊びの現場での実技研修

・ 森の活用・ロープワーク・危機管理等について

講師：広島県自然体験活動アドバイザー 仲渡尚史先生

- ・ 地域との関わりについて

田植え、稲刈り体験の場所提供と体験補助（6月・10月）

栗拾い体験の栗林提供と体験補助（10月）

森遊びのための場所提供（11月～2月）

- ・ 保護者との関わりについて

野菜畑の管理補助（年間を通して随時）

「ちゃぷちゃぷランド」（芦田川河川敷）の維持管理（毎月）

田植え、稲刈り体験、新米パーティーへの参加、協力（6月・10月）

和紙染めうちわ作りへの参加、協力（7月）

森遊びへの参加（1月）

- ・ その他

園内環境の見直し

園庭の周囲に雑草広場を確保し、自然の草や虫が集まる場所をつくった。

また、園庭の端にある野菜畑とは別に、園庭の中央に野菜畑を新たに作ったり、その周囲に植樹したりして、植物が園児のより身近な環境となるよう工夫した。